

研究機関：広島大学

研究課題名 脳血管内治療における至適活性化血液凝固時間（ACT）値を得るための ヘパリン初期投与量の計算式
研究責任者名 広島大学大学院医歯薬保健学研究科脳神経外科学 教授 栗栖 薫
研究期間 2018年1月16日(倫理委員会承認後)～ 2018年3月31日
対象者 2015年1月から2017年9月の間に、広島大学病院脳神経外科で未破裂脳動脈瘤に対してコイル塞栓術を受けられた患者さんと頸動脈狭窄症に対してステント留置術を受けられた患者さん。
意義・目的 脳血管内治療では、血栓性合併症などの予防目的で、全身ヘパリン化による活性化血液凝固時間(ACT)のコントロールが必須です。現在当科では、ヘパリンの初期投与量として体重(kg)に80もしくは100を乗じたものをレジメンとして使用しています。今回、ヘパリン初期投与量とACT延長の相関を調査し、当科で使用しているレジメンの有用性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、性別、身長、体重、血液検査データ（ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、クレアチニン、e-GFR、プロトロンビン時間、PT 活性度、PT-INR、活性化部分トロンボプラスチン時間）、ヘパリン初期投与量です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関 なし
試料・情報の管理責任者 広島大学 教授 栗栖薫
個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5227 広島大学病院脳神経外科 クリニカルスタッフ 大下純平